



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL) 04(7094)5581
四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	907	4.4	△11	—	△26	—	5	—
28年3月期第1四半期	869	9.8	△17	—	△33	—	△25	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	0.61	—
28年3月期第1四半期	△2.85	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	6,326	908	14.4	34.54
28年3月期	6,459	913	14.2	35.10

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 908百万円 28年3月期 913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	△0.7	150	△22.0	110	△34.6	90	△40.9	10.07
通期	4,000	△0.8	200	35.5	120	20.9	90	△10.9	10.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期1Q	10,453,920株	28年3月期	10,453,920株
29年3月期1Q	1,512,500株	28年3月期	1,512,500株
29年3月期1Q	8,941,420株	28年3月期1Q	8,942,508株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用状況に改善が見られる等回復基調が続きました。しかしながら、米国の利上げ局面入りや中国・新興国経済の減速傾向に加え、英国のEU離脱問題もあり急速に円高が進み、先行き不透明感が強まっております。

リゾートホテル業界におきましても、テロの影響等により海外旅行は減少傾向にある中、国内旅行は訪日外国人客の増大や海外旅行需要の一部が国内旅行にシフトされる等堅調に推移しております。

そのような状況の中で当社は、販売力の強化と収益力の拡大を主要課題として取組んで参りました。リゾートホテル事業につきましては、インターネット販売の強化により個人を中心に集客が高まり堅調に推移しております。また、ビジネスホテルも訪日外国人客や国内需要が旺盛なことから高稼働を維持、その他事業所もインターネットでの販路拡大や価格政策により堅調に推移しております。

その結果、当第1四半期会計期間の営業収益は907百万円と前年同四半期と比べ37百万円(4.4%)の増収となり、営業損失11百万円(前年同四半期は17百万円の損失)、経常損失26百万円(前年同四半期は33百万円の損失)、四半期純利益5百万円(前年同四半期は25百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ133百万円減少し、6,326百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ70百万円減少し、1,256百万円となりました。これは主に、売掛金が46百万円及び現金及び預金が20百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ62百万円減少し、5,069百万円となりました。これは主に、建物が44百万円及び投資有価証券が14百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ126百万円減少し、4,727百万円となりました。これは主に、短期借入金34百万円、未払消費税等が22百万円及び賞与引当金が22百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1百万円減少し、689百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ4百万円減少し、908百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、ホテル関連、リゾート関連とも堅調に推移しており、第2四半期は、主力であるリゾートホテルの稼働が最も高くなる夏季シーズンを迎え、昨年と同様の天候であれば第2四半期累計期間及び通期業績共に当初予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,457	1,015,171
売掛金	174,762	128,573
たな卸資産	48,146	49,092
未収入金	5,688	3,238
その他	65,135	61,867
貸倒引当金	△2,157	△1,576
流動資産合計	1,327,033	1,256,366
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,108,012	12,088,078
減価償却累計額	△8,649,497	△8,674,132
建物(純額)	3,458,514	3,413,945
構築物	513,958	514,339
減価償却累計額	△465,882	△466,620
構築物(純額)	48,076	47,719
機械及び装置	239,246	239,246
減価償却累計額	△188,690	△189,698
機械及び装置(純額)	50,556	49,548
車両運搬具	20,754	20,754
減価償却累計額	△19,590	△19,621
車両運搬具(純額)	1,164	1,132
工具、器具及び備品	837,434	839,867
減価償却累計額	△737,908	△741,369
工具、器具及び備品(純額)	99,525	98,498
土地	1,073,906	1,073,906
リース資産	114,507	120,099
減価償却累計額	△69,677	△72,455
リース資産(純額)	44,829	47,643
有形固定資産合計	4,776,572	4,732,394
無形固定資産	48,571	46,828
投資その他の資産		
投資有価証券	101,976	87,069
差入保証金	169,805	169,805
保険積立金	718	1,719
その他	43,846	40,905
貸倒引当金	△8,861	△8,861
投資その他の資産合計	307,484	290,638
固定資産合計	5,132,629	5,069,861
資産合計	6,459,662	6,326,227

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,746	91,982
短期借入金	3,759,275	3,724,618
1年内返済予定の長期借入金	490,525	481,431
未払金	16,244	13,174
未払費用	234,729	216,271
未払法人税等	19,532	5,899
未払消費税等	53,434	31,063
賞与引当金	44,357	22,347
その他	149,932	141,048
流動負債合計	4,854,779	4,727,836
固定負債		
繰延税金負債	6,453	1,607
退職給付引当金	130,286	134,078
役員退職慰労引当金	25,391	25,391
長期預り保証金	487,644	485,094
その他	41,281	43,342
固定負債合計	691,057	689,514
負債合計	5,545,837	5,417,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△220,889	△215,478
自己株式	△4,798	△4,798
株主資本合計	899,661	905,072
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,164	3,804
評価・換算差額等合計	14,164	3,804
純資産合計	913,825	908,876
負債純資産合計	6,459,662	6,326,227

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業収益	869,839	907,737
営業費用	887,134	919,127
営業損失(△)	△17,295	△11,389
営業外収益		
受取保険金	316	587
助成金収入	580	840
その他	5,478	4,265
営業外収益合計	6,374	5,692
営業外費用		
支払利息	22,322	20,988
その他	53	131
営業外費用合計	22,375	21,119
経常損失(△)	△33,296	△26,816
特別利益		
受取補償金	10,130	36,760
特別利益合計	10,130	36,760
特別損失		
固定資産除却損	244	2,424
特別損失合計	244	2,424
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△23,410	7,519
法人税、住民税及び事業税	2,108	2,108
法人税等合計	2,108	2,108
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,518	5,411

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	710,335	130,858	841,193	28,645	869,839	—	869,839
セグメント損失(△)	3,264	△928	2,336	△2,710	△373	△16,921	△17,295

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△16,921千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より、従来「リゾート関連」に含まれていた「アジュールーノ宮」について事業用資産から販売用不動産への切替に伴い、「その他」に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	732,755	147,692	880,447	27,289	907,737	—	907,737
セグメント利益 又は損失(△)	4,525	5,532	10,057	△3,142	6,915	△18,305	△11,389

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△18,305千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。